



上天草市立上天草総合病院

地域医療連携通信

上天草総合病院理念
信頼される地域医療
基本方針

1. 私達は、患者様中心の医療をめざします。
2. 私達は、地域に根ざしたところあたたかな医療を提供します。
3. 私達は、患者様に快適で安全・安心な医療を提供します。
4. 私達は、退院後も安心して療養できる病院をめざします。
5. 私達は、常に自己研鑽に努め、医療水準の向上に励みます。
6. 私達は、健全な病院経営をめざします。

上天草市立上天草総合病院 地域医療支援部(直通)
 電話:0969-54-7373 FAX:0969-62-1547
 住所:866-0293 熊本県上天草市龍ヶ岳町高戸1419-19
 電話:0969-62-1122(代) FAX:0969-62-1546(代)
 URL: <http://www.cityhosp-kamiamakusa.jp/>
 Eメール: kamiama@cityhosp-kamiamakusa.jp
 発行責任者:地域医療支援部長 細川 貴規



第40回上天草総合病院院内学会

研修図書委員会 竹下 哲二



警戒レベル3、高齢者避難勧告が発令されている中、7月1日に予定通り第40回の院内学会を開きました。会場参加者が30数名、オンラインでの参加

者も30数名、合計70名程度の参加者数でした。

新型コロナウイルス感染症が5類に引き下げられたとはいえ、天草医療圏では高齢者施設でクラスター感染も発生している状況です。今年は感染対策も考慮したうえで、病院6階講堂よりも広い看護学校の講堂を使って集合形式で行いたかったのですが、諸般の事情があり従来通り6階講堂で行うことになりました。感染対策のために昨年までと同様、オンラインでも参加可能なハイブリッド形式で開催しました。

演題受付を開始した直後は申込数が少なく、寂しい学会になるかもと覚悟したのですが締め切りまでにたくさんの応募があり従来通りの演題数で行うことができました。しかも今年は発表者の所属部署が多岐にわたり、内容もバラエティに富んでいて40回の記念大会にふさわしい学会となりました。コロナ関連の補助金がなくなれば大赤字の病院ですので、各部署より収支改善のための改善策などが出されたことは非常に有意義だったと考えています。

しかしながら、学会終了前の講評では事業管理者および病院長よりプレゼンテーションの仕方があま

りよくないという指摘がありました。推定される原因としては、この3年間、現地開催での学会がほとんどなく、今回の発表者の多くは学会に参加したこともなければ他者の発表内容についてみたこともなかったのではないかとということが挙げられます。今年10月に開催予定の熊本県国保地域医療学会は脇田院長が学会長ですので、病院からは複数の演題を出したいところです。まだ3か月以上ありますので優秀演題に選ばれた人たちにはそれまでに発表内容をブラッシュアップして演題申し込みをしていただきたいと思います。

院内学会の優秀演題は参加者からの投票で選ばれます。ここはオンライン開催のメリットを生かし、それぞれの端末からの投票で行いました。わずか3分で集計ができ、すぐに結果発表となりました。今年は票が割れました。ということは突出して優れた演題がなかったということも言えますし、上位が拮抗していたということも言えます。同数で2位の演題が二つあり、これらを含めた上位3題を秋の国保地域医療学会に出してもらうことを期待します。3名の方は今月開かれる創立記念日式典の席で表彰される予定です。

来年こそは、会場のみで集合形式で開催されることを期待してやみません。学会はお祭りですからやはり直接顔が見られることの意義は大きいと考えます。

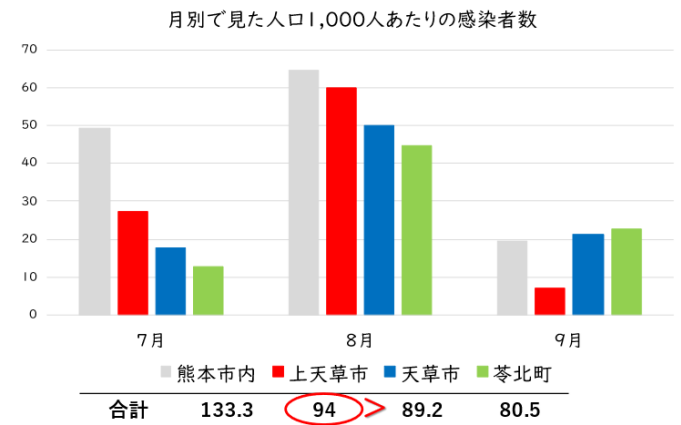
上天草市のコロナ流行の特徴

感染防止対策室 尾崎 かおり

テレビなどの報道を見ていると、新型コロナウイルス感染症は大都市ほど発生や流行が早く、感染者数が多いように感じていました。実際、天草圏域の感染状況はどうだったのか当院小児科の船曳先生と感染者数を分析してみました。その結果を、今回院内学会にて発表させていただきました。

今回は、新規感染者数が大幅に増加した第6波、第7波に注目してみました。感染者数を初日から5日ごとに集計し、人口1,000人あたりに換算した数値を用いました。第6波では人口1,000人あたり5日間で0.5人、第7波では人口1,000人あたり5日間で10人を流行の始まりとした場合、天草市より上天草市の方が流行が早かったことが分かりました。また、新規感染者数は、第6波、第7波のいずれにおいても天草市より上天草市の方が多かったことが分かりました。

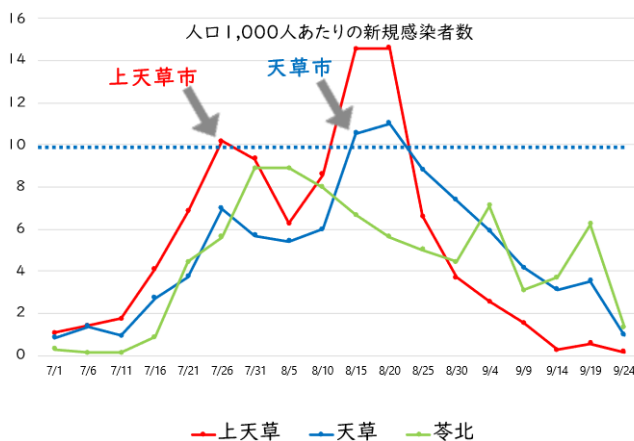
第7波（2020年7月1日～9月30日）



天草市の人口は、上天草市の約3倍で保健所や行政機関の出先などもあり、感染者数が多いのではないかと予想していました。しかし、天草圏域においては第6波、第7波のいずれにおいても熊本市から近いほど感染者数が多い傾向がみられました。このことから、居住地と熊本市を往復する人が多いとウイルスが持ち込まれる頻度が高くなるものと推測されました。天草圏域における1回目から3回目のワクチン接種率は、苓北町が87.6%、天草市が86.0%、上天草市が85.7%であり、県庁所在地からの距離が遠いほど各自治体のワクチン接種率は高くなる傾向にありました。しかし、その差は2%ほどであり、今回の検討に大きな影響はなかったと考えました。

今回ハイブリッド開催ではありましたが、以前のような活気のある院内学会が開催でき、また参加できたことを嬉しく思いました。

第7波（2020年7月1日～9月30日）



研修会・勉強会の行事予定表

8月10日(木)	(学研・基礎研修) 褥瘡ケアの「いろは」 ～予防・発見・悪化防止の3ステップ～	15:00～ 当院6階講堂
8月18日(金)	心臓リハビリテーション教室 開催は中止します	
	がんサロン 今月の開催はありません 次回、12月クリスマスサロンの予定です	

看取りのカンファレンスから人生会議へのアップデート

○5病棟看護師 溝川 豪、野村 由佳、須崎 麗亜



長寿社会の日本において、人々が最期まで自分らしく生きることができるよう支援を行なうことの重要性はますます高まっています。厚生労働

省が実施した意識調査では、約70%の人が、あらかじめ自分の治療・ケアについての希望を書面へ記載することに賛成しています。しかしその一方で実際に希望の意思表示ができていたという人は、わずか3%という現状が明らかとなっています。この課題に対応するための方法としてアドバンス・ケア・プランニング (ACP) というものに注目が集まっています。

ACPとは「将来の変化に備え、将来の医療及びケアについて、本人を主体にその家族や近い人、医療・ケアチームが繰り返し話し合いを行ない、本人による意思決定を支援するプロセス」です。そしてこれを厚生労働省により「人生会議」という愛称で推進しています。

A病院では、「看取りのカンファレンス」として導入されていますが、全病棟にアンケートを行なったところ、聞きとりや話し合いの内容に関して不十分であるといった意見が多く見受けられました。また看取りという状況になってからカンファレンスを開始するため私達にできることも限られていました。そこで私達は改善案として新たなACPマニュアルの導入を提案したいと考えました。「誰がやっても同じ質の話し合いができる」ということを目標として、患者様および家族に聴き取る内容をまとめた

「人生会議聴き取りシート」と経験の浅い看護師でも同じ水準で話し合うためのツールとして「人生会議 (ACP) 」を作成しました。

試験的に導入した結果、家族の反応としては娯楽や嗜好品に関する希望が多く聞かれていました。特に以前はあまり事例のなかった「逝去後に着せてあげたい服がある」という希望が多かったです。事前に準備をしておくことで慣れ親しんだその人らしい服装を家族にお見せすることができました。実施後の病棟アンケートでは聴き取りと内容の面で改善したという意見が多かったです。また「聴き取りシートを活用できた」との回答は病棟全体で約70%でした。このように改善できた点もありましたが課題として残ったのが開始のタイミングについてです。

「まだ元気だから考える必要はない」「最期のことを考えることは悲しい」という声も聞かれていました。もちろんその時の状況や様々な人生観があるためその思いも尊重したいと考えております。しかし最期のときまで自分らしく生きることができるようサポートするためにはその人の思いを知ることが必要です。命の危険が迫った状態になると約70%の人がこれからのケアや医療についての希望を伝えられなくなるといわれています。自分の思いを伝えられるその時に家族と話し合う時間を設けてはいかがでしょうか。長く過ごした家族でも知らなかった思いや考えがあるかもしれません。

今回の研究をもとに地域の皆様が充実した日々を過ごせるよう尽力したいと考えておりますので今後ともご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

編集後記

○今月は、ハイブリッド開催となった、第40回上天草総合病院院内学会について研修図書委員会長からと、優秀演題発表2題について、紹介させて頂きました。コロナ罹患者数と熊本市からの距離の相関関係について、感染防止対策室の尾崎ICNが数値化・グラフ化され、興味深い内容を発表されていました。また、5病棟からは、最期の時に関して、本人はもちろん、周りの家族も含め、その時を迎える準備の「人生会議」について、その準備と実践・その後の心のサポートまで含めて、症例分析をされ発表されていました。第何波の時だったか、世間でエンディングノートが話題になった時がありました。私事ですが、家内と話し合いそれぞれ1冊ずつ購入し、いざ書こうとしても、なかなか書けなかった事を思い出しました。「人生会議」は、これからの時代に求められる、1つのサポートであると実感しています。(細川)

8月 診療案内

※は、熊大応援医師

	月	火	水	木	金	休診日
内科	和田 正文 中原 大智 浦川 朋也	岸川 秀樹 和田 正文 中村 太造 堤 龍子	中原 大智 浦川 朋也 中村 太造	和田 正文 細川 貴規 中原 大智 ※高柳 宏史	細川 貴規 堤 龍子 浦川 朋也	
代謝内科	※阪口 雅司	-	-	岸川 秀樹	※小野 薫 (第3・5) ※大津 可絵 (第1・2・4)	
腎臓内科	-	-	細川 貴規	-	-	
循環器内科	脇田 富雄	脇田 富雄	-	※山本 正啓	脇田 富雄	8/14(月) 15(火) 24(木) 25(金)
外科	高塚 二郎	-	高塚 二郎	-	-	
小児科	船曳 哲典	※熊大	船曳 哲典	※熊大	船曳 哲典	
婦人科	坂口 優子	-	坂口 優子	-	-	
※診療時間は9時から13時30分となります。(受付時間は8時30分～13時まで)						
整形外科	藤松 晃一	※上原 悠輔	藤松 晃一 (再診のみ) 村上 直也	藤松 晃一	村上 直也	
※毎週火曜日の診療開始は10時50分からとなります。 ※毎週水曜日の藤松医師の診療は再診のみとなります。						
耳鼻咽喉科	-	※熊大	-	※熊大	※熊大	
眼科	粟井 麻衣子	竹下 哲二	古島 京佳	竹下 哲二	古島 京佳	8/14(月)
皮膚科	-	-	-	江頭 翔	-	
泌尿器科	-	西 一彦	-	-	西 一彦	8/15(火)
超音波・ 内視鏡センター	石山 哲	石山 哲	※大野 健翔	高塚 二郎	※蔵野 宗太郎	
歯科・口腔外科	福田 敏博	福田 敏博	福田 敏博	福田 敏博	福田 敏博	
※午後は、13時～16時30分までの受付です。						
教良木診療所 応援	中原 大智 (午後)	村上 直也 (午後)	応援	応援	浦川 朋也 (午後)	
御所浦診療所 応援	竹下 哲二 (午前)					
栖本病院 応援			堤 龍子 (午前)			

※診療受付時間は午前8時30分～11時30分までです。

※脳神経外科は月2回(第2、第4水曜日)の午後2時より診療を行います。(予約制)

※診療案内は都合により変更となる場合があります。ご了承ください。